



編集・発行
日蓮宗 能勢妙見山
広報部
〒563-0132
大阪府豊能郡能勢町野間中
電話 072-739-0329
FAX 072-739-2883

新春のお慶びを申し上げます 世界の平和と皆様のご多幸をお祈りします

本年も『妙乃見山』をおとどけします
行事のご案内やその謂われ、季節の境内写真などを掲載します
また仏教の教えに触れていただく法話など
月に一度ですが、お手に取り読んでいただければ幸いです

〔1月の行事予定〕

☆正月歳始祈禱 1日～15日

※新年の開運シールを授与します
※歳始祈禱申込み受付中です
お問合せは寺務所窓口へ

★書き初め写経会

11日(日) 11時

★清掃の日

15日(木) 11時～12時

★月例祈願法要

15日(木) 13時

★鷗様月例祭

22日(木) 15時

妙見様のご縁日祈願法要 開運殿にて厳修
この日にご祈禱を受けた方には
火伏せの守り札(鷗様の黒札)を授与します

〔2月の行事予定〕

☆節分会星祭 3日(火)

一年間の善星皆来・悪星退散を祈ります
ご祈禱の申し込み受付中です

☆国持会くお火焚祭りく 11日(祝) 10時法要

★清掃の日 15日(日) 11時～12時

★月例祈願法要 15日(日) 13時

★鷗様月例祭 22日(日) 15時

●2月の写経会は取りやめます

◎ご祈禱・ご回向等のお申込はFAX・メールでも
受け付けています

※正月三ヶ日は

信徒専用のシャトルバスがあります

法華信仰に生きた 頼次公

——日慧

初春を迎えてご挨拶申し上げます。本年もよろしく
お願い申し上げます。

さて本年は午年。馬は古
来仏神に奉納すると、絶大
な御利益を得ることができ
るといわれ、妙見山上境内
には銅像ですが八神馬が祀
られています。

妙見大菩薩は、当山の開
基である領主能勢頼次公が
帰依し武運の長久を願った
ことから、武將の乗り物で
ある馬との縁が特に深いも
のとされています。

能勢家は多田源氏の鼻祖
満仲公以来の家柄を誇って
いましたが、戦国時代のこ
と、二十三代頼次公にい
たつて、明智光秀に加担し
て織田信長を討ったことか
ら豊臣秀吉に追われて岡山
の妙勝寺という先祖の建て
たお寺に隠れました。
その時法華経の教えに触

れて深く帰依しました。そ
してその功德効験があつて
不思議にも仏縁を得て徳川
家康に旗本として仕えるこ
ととなりました。やがて
関ヶ原の戦いの後、徳川幕
府からもとの能勢領を再び
領地とすることを許された
のです。

旧領に復帰することがで
きた頼次公、そして旧領主
を迎えた能勢の領民たち
共にその喜びは誠に大きい
ものであったといえます。

喜びの中、今の喜びを得る
ことができたのも法華経の
おかげだとの思いから、後
の日蓮宗総本山身延山久遠
寺第二十一世となった寂照
院日乾上人を御開山として
真如寺が建てられ、また能
勢家代々の武運長久開運隆
昌を願って当時為楽山と呼
ばれていた山の上に妙見大
菩薩が祀られることとなり
ました。これが現在の日蓮
宗霊場能勢妙見山です。
能勢頼次公は寛永三年

(1626)一月十八日、そ
の波乱に富んだ六十五年の
生涯を閉じられました。

法名清素院殿窓月日輝大
居士。本年は没後四百年目
に当たります。

戦乱の世の中に生きなが
ら戦いを好まず、他を苦し
めることなく誰もが喜び楽
しみを分かちあえる世の実
現を目指した人でした。世
情不安定な現在、大いに見
習いたいものです。

梵鐘 (ぼんしょう)

釣鐘(つりがね)とも
呼び、除夜の鐘など、
種々の行事にあわせて
打ちます。当山の梵鐘
は寛延四年(一七五二)
鑄造され、先の大戦で
は兵器弾薬の材料のた
めに強制供出されまし
たが、その由緒の故に
返還されました。

《法華経に学ぶ現代》

〜純智庵〜

汝等が

所行は

是れ菩薩の道なり

漸漸に修行して

悉く當に

成仏すべし

人としてこの世に生まれ
人としてこの世に生きる
菩薩の道は

出会い触れ合い助け愛
一つひとつの行いは
あなたの心を磨きます

仏の子として
生きましよう

この世に生まれて
良かったと

『薬草喻品第五』

感謝の気持ちを持てるよう

知識まめ仏教

写経 (しゃきょう)

お経文を写すこと
を写経といいます。仏
の教えを知りたくて
も、昔は經典は今のよ
うに活字ではなく写す
しかありませんでした。
お経を写すことは、自
分ばかりか他の人にもそれを
伝えることができるので
す。教えを弘めるという功德
は大変大きなものなので、写
経は法華経の修行法として説
かれる五つのうちの二つとされ
ているのです。

新年を迎え初めて文字を
書くことを書き初め、またふ
ではじめなどともいいます。
各地で書き初め大会などが催
されますが、古来正月二日に
吉方(えほう)に向かつてめ
でたい意味を持つ詩歌や句な
どを書く習慣がありました。
能勢妙見山では毎年、金紙
に法華経の経文を書く書き初
め写経会を催しています。年
の初めに皆さんも是非写経を
してみても如何でしょうか。